

久慈市

# 個別避難計画作成手順書

【福祉専門職用】

令和5年5月

久慈市



# 1. 「個別避難計画」について

## (1) 避難行動要支援者名簿

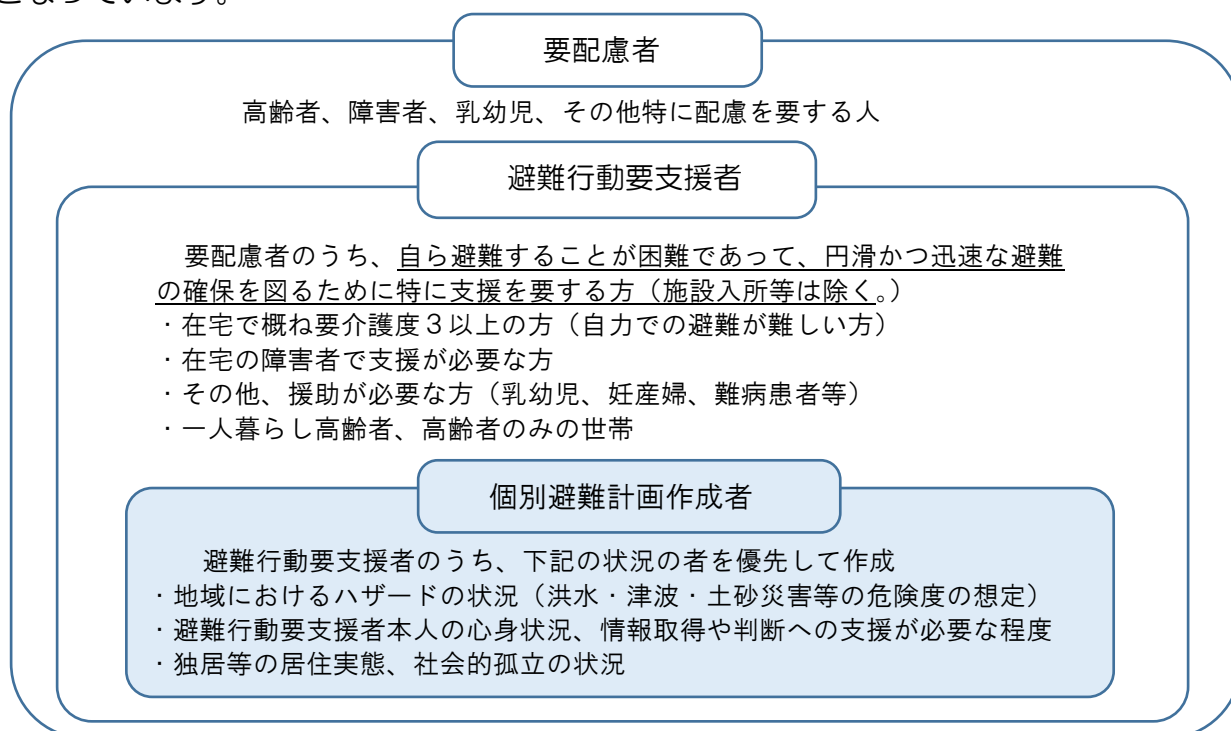
久慈市では、地震や大雨による災害等に備えるため、災害時に自力で避難することが難しい高齢者や障害者等の避難行動要支援者（以下、要支援者という。）を登録した避難行動要支援者名簿（以下、名簿という。）を作成し、日頃から、避難行動要支援者に関する情報（情報提供に同意した方のみ）を避難支援等関係機関（市役所の関係部署、社会福祉協議会、民生委員、警察、消防、消防団、町内会・自主防災組織（名簿共有協定を締結した団体のみ）等で共有し、災害発生時の円滑な避難支援等に活用するほか、日頃の見守り活動等を通じて顔の見える関係づくりを進めています。

名簿は、平成25年に市町村での作成が義務化され、災害時に当該情報が活用されるよう作成が進められてきました。しかし、近年の災害において、未だに要配慮者が被害に遭っており、真に避難支援を要する者を正確に把握することができていない、災害対応の場面で名簿情報が十分に活用されたと言える状況には至っていない、平時からの名簿情報の提供が進んでいない等が課題とされています。

このことから、今後、名簿に掲載すべき者が掲載されないことを防ぐため、福祉専門職や町内会・自主防災組織など、地域の鍵となる人や団体と連携して名簿の登録を進め、避難支援、安否確認、発災後の生活支援等に活用していくことが重要となっています。

## (2) 個別避難計画

「個別避難計画」は、災害時に円滑かつ迅速に避難できることを目的とし、要支援者一人ひとりの状況にあわせた避難時の配慮事項や避難先、必要な支援等を記載した計画です。近年の災害においても、多くの高齢者・障害者等が被害に遭い、避難が適切に行われなかった事例があった状況を踏まえ、避難の実効性を少しでも高めるため、個別避難計画の作成が重要となっています。



### (3) 福祉専門職との連携

これまで、要支援者の名簿登録や個別避難計画の作成は、主に民生委員、町内会等による取組が進められてきました。しかし、これらの地域団体等のみでは、要支援者と日常的につながりがなく、避難支援を真に必要な要支援者を把握することが困難な場合や、要支援者一人ひとりに適した支援方法を検討する際に福祉専門的な視点が必要な場合があります。

そこで、要支援者は、在宅で福祉サービスを利用している方が多いことから、日常から要支援者とつながり、心身の状態をよく把握し、信頼関係が期待される介護支援専門員（高齢者）や相談支援専門員（障害者）等と連携していくことが、個別避難計画を作成する上で重要となっています。

久慈市では、個別避難計画の作成について、計画作成の優先度の高い方を定め、それらの方について、居宅介護支援事業所（高齢者）、相談支援事業所（障害者）と連携し、必要に応じて地域調整会議（自主防災組織、民生委員、要支援者、福祉専門職、社会福祉協議会、市等による避難支援を検討する会議）等を開催し、様々な避難支援等関係機関と連携しながら個別避難計画を作成していきます。

#### 福祉専門職との連携による効果

- ・ 避難支援が真に必要な人を拾いあげる  
地域住民でもつながりがなく、把握できない人がいる  
避難行動要支援者＝福祉サービスを利用している場合が多い
- ・ 当事者の心身状況の理解と信頼関係  
正確な心身状況を把握し、つながりのある介護支援専門員や相談支援専門員の話なら聞く
- ・ 当事者の代弁  
地域調整会議の際、当事者・家族に代わって必要な支援を説明
- ・ 当事者情報の更新  
地域住民だけでは、変化する心身状態や施設入所情報などがわからない
- ・ 災害後の円滑な福祉サービスの調整  
避難方法を把握していれば、発災後の円滑なサービス利用につなげられる

### (4) 個別避難計画に記載する事項、様式

#### ア 記載事項

個別避難計画には以下の項目について記載します。

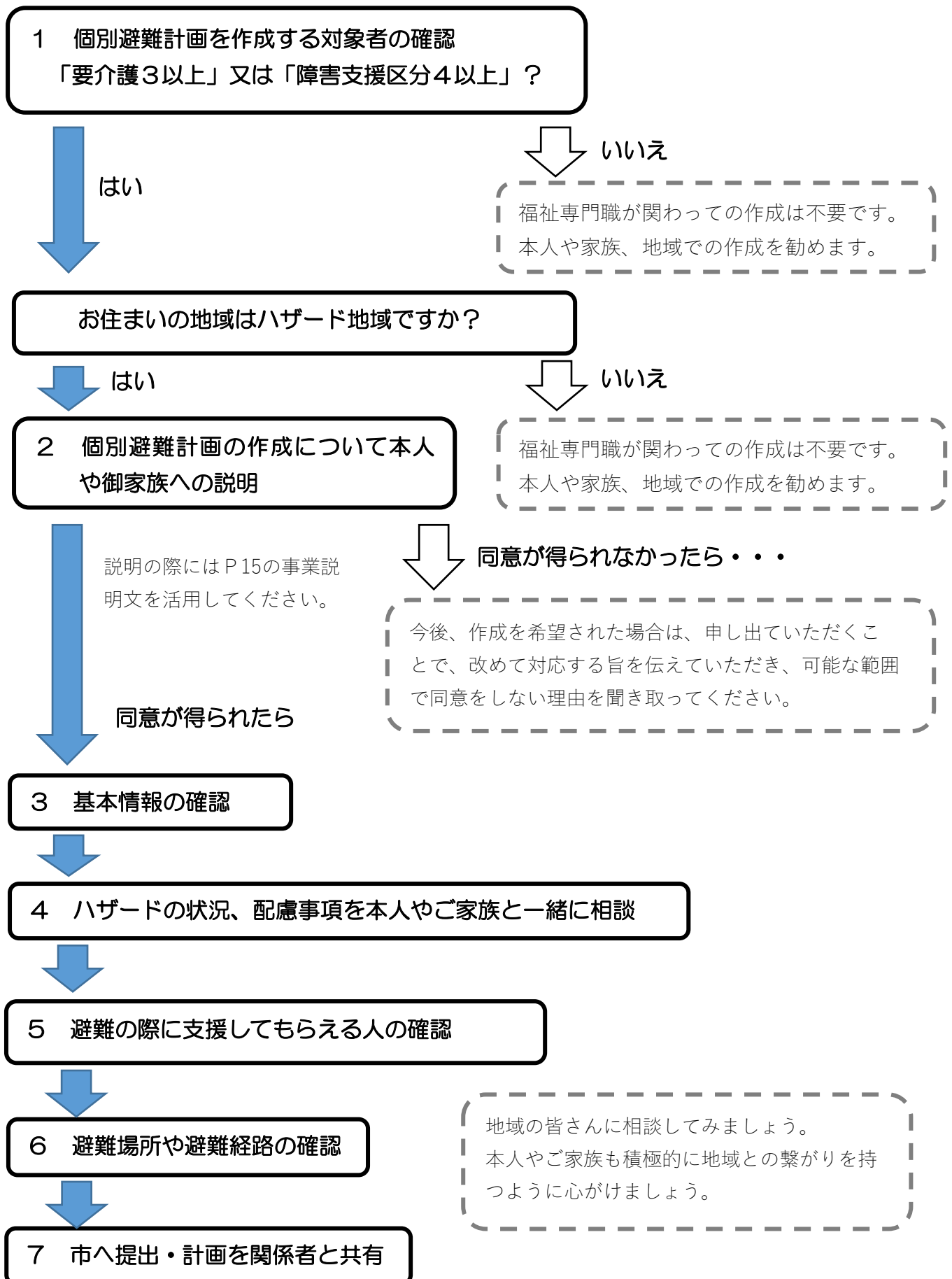
##### ※個別避難計画の記載事項

氏名、生年月日、性別、住所又は居所、電話番号その他の連絡先、  
身体の状態（介護度や障害支援区分、障害者手帳の種類等）、緊急連絡先、  
避難時の配慮に関する情報、避難支援者の情報、避難場所及び避難経路の情報等

#### イ 様式

久慈市避難行動要支援者名簿登録申込書兼個別避難計画に記入します。（P17・18参照）

## 2. 個別避難計画作成の流れ



### 3. 個別避難計画の作り方

#### (1) 個別避難計画を作成する対象者の抽出

久慈市では、要介護度や障害の支援区分の程度が高く、災害リスクの高い地域にお住まいの方について、居宅介護支援事業所（高齢者）、相談支援事業所（障害者）の福祉専門職の協力を得て、個別避難計画の作成に取り組みます。

個別避難計画を作成する対象者は、名簿に登録されている方で、計画作成に同意した方です。（名簿に登録されていない場合は、個別計画作成と同時に登録可能です。）

要介護度や障害の支援区分の程度が高い方は、支援の必要性の高い方であり、基本的に、支援の程度が高い方から作成します。相手方の状況等により、支援の程度が高い方からの作成が難しい場合は、作成可能な方から順次、作成します。

福祉専門職と連携して計画を作成する対象者は、以下の「身体的な要件」かつ「ハザード地域にお住まいかどうかの地理的要件」に合致する方です。事業所の利用者の中で下記要件に該当する方を抽出します。

#### ア 本人の身体的かつ生活要件

##### ・要介護3以上又は障害支援区分4以上で独居など支援が必要な方

※上記の状態でなくても、重度障害者等で支援が必要な場合は対象です。

※在宅で生活されている方が対象です。

※同居者がいる場合でも、同居者のみでは避難が困難な方は対象です。

#### イ ハザード地域の要件

##### ・津波浸水想定区域

##### ・土砂災害特別警戒区域、土砂災害警戒区域

##### ・洪水浸水想定区域 など

上記要件に合致しない方は、本人、家族等による計画作成を勧奨します。

**津波浸水想定区域**：津波の浸水区域。浸水区域からの「立退き避難」が必要。

**土砂災害（特別）警戒区域**：土砂災害が発生した場合、住民の生命・身体に危害が生ずるおそれがある区域。「立退き避難」が必要な区域。

**洪水浸水想定区域**：川の水があふれ出した場合に想定される最大の浸水の区域。浸水想定3m以上は、住宅の2階の屋根まで浸水することが想定され、「自宅の3階以上への垂直避難」や自宅が2階以下の場合は「立退き避難」が必要な区域。

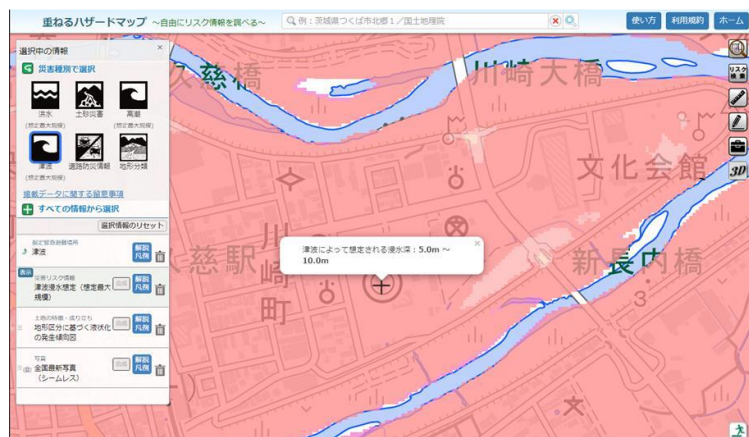
**家屋倒壊等氾濫想定区域**：洪水時に家屋の流失・倒壊等をもたらすような氾濫が発生するおそれがある区域。氾濫流による「家屋倒壊等氾濫想定区域」の場合は、強固な建物（堅牢なマンションの上階に居住等）に居住されている場合は、必ずしも立ち退き避難まで必要とはならない場合がありますが、河岸侵食による「家屋倒壊等氾濫想定区域」の場合は、家屋の基礎を支える地盤が流出する場合があります。

<参考：ハザードリスクと福祉専門職による計画作成の関係>

氾濫想定区域 家屋倒壊等	区域	建物の種類	避難方法	福祉専門職による計画
	河川浸食	全ての建物	立退き避難	○
	氾濫流	木造の建物	立退き避難	○
		木造以外の建物	浸水深に応じた避難	下の区分による
洪水浸水想定区域	浸水深	居室の高さ	避難方法	福祉専門職による計画
	5m以上	—	立退き避難	○
	3m～5m未満	3階以上	(屋内安全確保)	—
		1～2階	立退き避難	○
	0.5m～3m未満	2階以上	(屋内安全確保)	—
		1階	立退き避難	○
	0.5m未満	—	(屋内安全確保)	—
別)警戒区域 土砂災害(特)	区域		避難方法	福祉専門職による計画
	土砂災害警戒区域		立退き避難	○
	土砂災害特別警戒区域		立退き避難	○
想定区域 津波浸水	区域		避難方法	福祉専門職による計画
	浸水想定区域		立退き避難	○

<参考>地理的要件の調べ方 ～ハザード地域にお住まいですか～

対象となる方の自宅等を防災危機管理課で配布している「ハザードマップ」、又は、久慈市ホームページ、重ねるハザードマップ（ハザードマップポータルサイト）でもハザード状況が確認できます。



## (2) 個別避難計画の作成について本人やご家族への説明

- 個別避難計画の作成の必要性や、久慈市から個別避難計画の作成について委託を受けて実施している旨を説明します。
- 説明する際には、P15の「個別避難計画の作成に関する事前説明」を使うと、伝えるべき項目をチェックしながら確認できます。
- 説明後、P16の「個別避難計画作成等の意向確認書」を示して、個別避難計画を作成することと、平常時から個別避難計画の情報を関係団体に提供することに、本人又は家族等が同意するか、否かについて確認し、署名をもらいます。

## (3) 基本情報の確認

- 基本情報として確認する内容は、日頃からのケアプランを作成する中で把握されている内容がほとんどです。
- 本人やご家族と話す前に確認しておく、円滑に個別避難計画を作成することができます。

### 久慈市避難行動要支援者名簿申込書 兼 個別避難計画

**記入例**

申込区分  新規  変更  削除 (削除理由: 死亡 施設入所 その他)

久慈市長様 私は、災害時に地域の支援を受けたいので、避難行動要支援者名簿への登録を申し込みます。私が届け出た下記の情報が市の関係部課、警察署、消防署、地域の民生委員・児童委員、地域支援者、消防団及び地域支援団体等に提供されることを承諾します。					
令和 年 月 日					
フリガナ氏名	クジ タロウ 久慈 太郎	性別	男	生年月日	大(昭)平(令) 11年11月11日
住所	久慈市川崎町1番1号		自宅電話番号	0194-12-XXXX	
			携帯電話番号	090-1234-XXXX	
代理人代筆者	久慈 花子		申込者との関係	子	

新規：これまで登録がない場合  
変更：既に登録がある場合で、記載内容の追記や変更がある場合  
削除：施設入所・死亡・転出の場合

最後に訪問し、記入した日を記入します

作成に携わった作成者を記入します。家族・民生委員・福祉専門職等

登録区分 (該当するものに全てに☑を付けてください)					
<input type="checkbox"/> 高齢者のみの世帯	<input checked="" type="checkbox"/> 要介護3以上 (在宅生活者)	介護度	3	<input checked="" type="checkbox"/> 身体障がい者 (肢体・視覚・聴覚)	等級
					3
<input checked="" type="checkbox"/> 知的障がい者	等級	<input type="checkbox"/> 精神障がい者	等級	<input type="checkbox"/> 難病患者	病名
	B				
<input type="checkbox"/> その他 ( ) ※人工呼吸器装着、在宅酸素療法、人工透析等					

緊急連絡先 (家族等)					
フリガナ氏名	生年月日	続柄	住所	電話 (自宅・携帯)	
追加 クジ ハナコ	昭和35年12月12日	長女	久慈市川崎町〇〇	0194-12-XXXX	
削除 久慈 花子				090-1234-XXXX	
追加 クジ イチロウ	昭和33年10月10日	長男	久慈市長内町〇〇		
削除 久慈 一郎					

緊急連絡先となる方にも、町内会等に情報を提供してもよいか確認しましょう。口頭による同意でも構いません。



医療・福祉サービスの状況			
かかりつけ医療機関	〇〇クリニック	担当医師	〇〇先生
持病/既往歴	認知症	携行薬等	〇〇薬
居宅介護支援事業所	〇〇事業所	ケアマネジャー	〇〇
相談支援事業所	〇〇事業所	相談員	〇〇
利用状況	(例) 毎週月・木 〇時～〇時まで利用 など 毎週月・木 〇時～〇時までデイサービス利用		

#### (4) ハザードの状況、配慮事項を本人やご家族と一緒に相談

- ハザードマップを開き、要支援者が住んでいる場所がハザード（土砂、洪水、津波）に該当するか確認します。本人やご家族と一緒にハザードマップを見ることで、危険性を確認でき、災害への意識も高まります。
- 「避難の支援が必要な理由」として該当する項目をチェックします。チェック項目の欄以外にも、本人の心身の状況に合わせて配慮が必要な事項を自由記載欄に記載します。たん吸引機や補助バッテリー等がある場合は、機器欄に記載します。
- 災害の種類や、お住まいの状況により、必要な避難行動には違いがあります（P5参照）。災害時にどのような避難行動をとるか、本人又はご家族等の意向を聞きながら、災害（水害時、地震時）毎に本人の状況に応じて検討します。
- 自宅外への避難が必要な場合、指定避難所だけでなく、安全な場所にある親族宅や知人宅への避難も含めて検討しましょう。また、地域での取り決めがある場合は、それらも参考に検討を進めることも大切です。

居住環境（該当するものに☑を付けてください）			
同居家族	<input checked="" type="checkbox"/> いない <input type="checkbox"/> いる（父母・子・祖父母・孫）	要支援者のみの時間帯	
災害の危険ハザードマップ	<input type="checkbox"/> 土砂災害 <input checked="" type="checkbox"/> 洪水浸水 <input checked="" type="checkbox"/> 津波浸水 <input type="checkbox"/> その他（		

ハザードマップで確認し、該当する項目にチェックします。

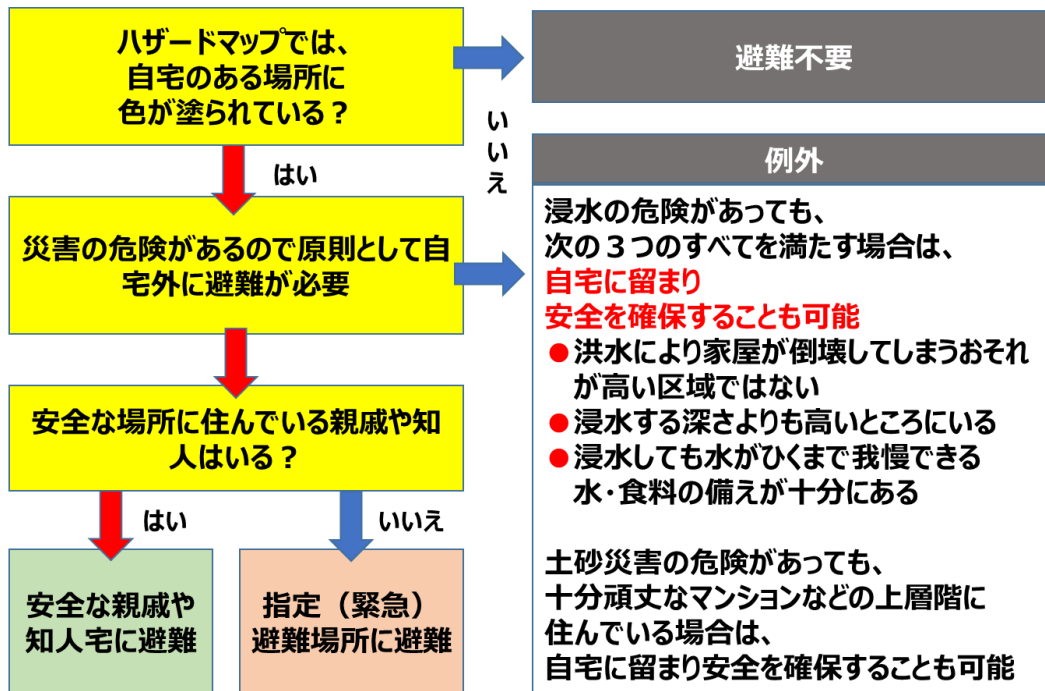
避難の支援が必要な理由（該当するものに☑を付けてください）	
私の状態  A～Cのいずれかにチェックしてください。	<b>A <input type="checkbox"/> 自力で避難できる(念のため、安否確認してほしい)</b> <b>B <input checked="" type="checkbox"/> 一部支援や見守りが必要</b> <input checked="" type="checkbox"/> 立つ・歩くが不自由 ※器具を選択（車イス・杖・シルバーカー・なし） <input type="checkbox"/> 音が聞こえない <input type="checkbox"/> 物が見えない <input checked="" type="checkbox"/> 言葉や文字が理解しにくい（丁寧な説明があれば理解できる） <input type="checkbox"/> 危険性を判断しにくい（丁寧な説明があれば理解できる）
	<b>C <input type="checkbox"/> 専門的な支援が必要</b> <input type="checkbox"/> 移動に担架やストレッチャーが必要 <input type="checkbox"/> 集団での生活が困難 <input type="checkbox"/> 排泄に介助が必要 <input type="checkbox"/> 食事に介助が必要 <input type="checkbox"/> 言葉や文字が理解できない <input type="checkbox"/> 医療機器が必要 ※機器（
	自由記載

該当する項目にチェックします。どのような状態かわかると支援が考えやすくなります。

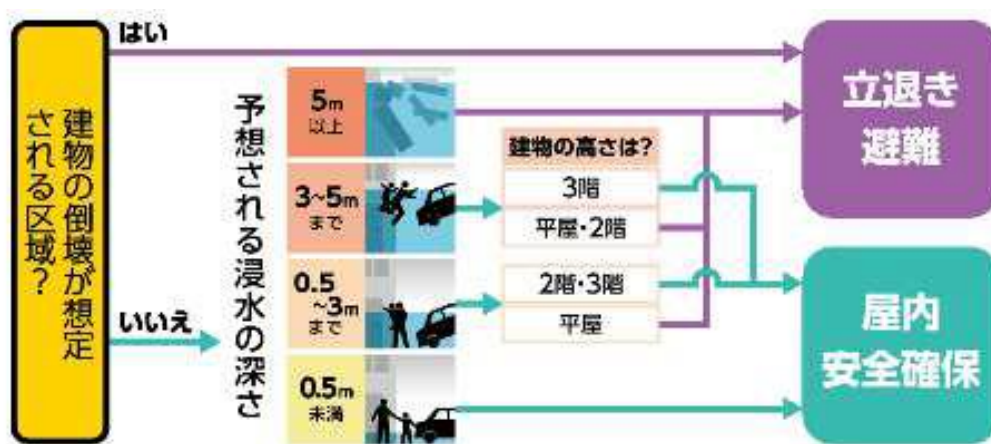
<参考：水害の避難行動判定フロー>

災害リスクが高い場所にお住まいの方は、早めに安全な場所へ避難することが大切です。あらかじめ避難行動を決めておきましょう。

指定緊急避難場所への避難だけでなく、安全な自宅の上階や、災害リスクの低い場所にある親戚や知人宅への避難も含めて検討しましょう。



<参考：水害時の避難行動>



浸水深より居室が高く、家屋倒壊等氾濫想定区域外にお住まいで、十分な備蓄品がある場合は、建物の2階以上に避難する（屋内安全確保）ことも可能です。

## (5) 避難の時に支援をしてもらえる人の確認

### 「地域支援者」について（法的責任や義務はありません。）

- 地域支援者は、要支援者への避難情報の伝達や近隣住民等への手助けの依頼等の支援を行っていただく方です。支援できることの例は、
  - ・可能な範囲での避難の誘導
  - ・「高齢者等避難発令」時の声かけ
  - ・近隣住民等への手助けの依頼
  - ・平常時からの避難訓練の実施
- 地域支援者に対して、災害時に、必ず、避難所まで連れていくことを義務付けるものではありません。また、地域支援者も被災者となることが想定されるため、まず、自分と家族の安全を確保した後、可能な範囲での支援の実施をお願いします。そのため、以下の点について、本人や家族等に理解をいただいた上で、選定します。

- ・「個別避難計画」に基づく避難支援等が必ず実施されることを保証するものではないこと
- ・避難支援結果について計画作成者、避難支援者に法的な責任や義務を負わせるものではないこと
- ・あくまで避難の円滑化や避難行動への支援の可能性を高めるものであること

### 「地域支援者」の選定

- 地域支援者の選定にあたっては、まずは、本人と、本人の状態や配慮すべき事項を一番把握されていると思われる、家族（同居、別居含む）や親族での対応を検討します。
- 親族等が近くにいない場合は、近所の方や自主防災組織等が考えられます。本人や家族等から普段の地域でのお付き合いの中で、地域支援者となっていただけそうな方を聞き取っていただく等、本人・家族又は作成者から、地域支援者となる候補の方へ趣旨を説明し、避難支援者になっていただけるよう依頼します。また、常に対象者に対しサービス提供を行うために携わっている事業所等での対応が可能な場合は、その旨を記載します。

- ・避難支援者は、必ずしも個人に担っていただく必要はありません。
- ・地域によっては、地域での避難支援等は地域団体で担うことも想定されます。地域団体が避難支援者となる場合は、避難支援者の欄に団体名を記入します。
- ・津波からの支援者については、陸側に住む支援者が海側に住む要支援者宅へ行くことが無いように選定すること。

### 本人や家族が地域と関わりがなく避難支援者の選定ができない場合

- 久慈市社会福祉課、社会福祉協議会を通じて、地域での避難支援等について地域支援団体等（民生委員や町内会・自主防災組織）に相談します。

作成者 → 社会福祉課・社会福祉協議会 → 民生委員  
町内会（自主防災組織）

## 最終的に地域支援者が選定できない場合

- 避難支援者を選定することにより、避難の円滑化や避難行動への支援の可能性が高まることが期待できますが、日頃から近隣との付き合いがない場合や支援者が近くにいない場合等においては、選定できない場合も考えられます。
- 近隣や地域支援団体等に相談したうえで、なお、避難支援者が選定できない場合は、「地域支援者がいないため、個人情報を地域支援団体等へ提供し、候補者があれば依頼したい」欄の項目に☑をし、避難支援者は空欄で計画作成を行います。
- 計画作成後は、引き続き、本人や家族又は作成者において、避難支援者になっていただける方の検討を行います。当初の計画作成時には、地域支援者を選定できなくても、地域支援団体等へ情報を提供し、候補者の選定を依頼する意思を示すことで、自主防災組織等で開催する地域調整会議において検討する機会につながります。
- まずは、本人や家族等においては、近隣や地域との関わりを深めていただくよう、働きかけをお願いします。

※地域支援者の選定に当たって、民生委員等との連絡調整や自主防災組織等で開催する地域調整会議等に出席し、地域支援者の選定に至った場合は、新規作成：4,200円のほかに、連絡調整：1,400円を加算します。

### 個別避難計画

地域支援者（地域支援者了解のうえ、できるだけ記入してください）				
	フリガナ 氏名・団体名	関係	住所	電話（自宅・携帯）
追加	ボウサイ ゴロウ 防災 五郎	町内会	久慈市川崎町〇〇	0194-12-XXXX 090-1234-XXXX
削除	チヨウナイ シロウ 町内 四朗	近隣	久慈市川崎町〇〇	0194-12-XXXX 090-1234-XXXX
追加	久慈自主防災会	自主防災組織	久慈市川崎町〇〇	0194-12-XXXX 090-1234-XXXX
削除				

地域支援者がいないため、個人情報を地域支援団体等へ提供し、候補者がいれば依頼したい。

※避難時の声掛けや移動のサポート等の支援をお願いする人を登録してください。  
ただし、避難を支援する人が可能な範囲で、支援者(あなた)の支援を行うものであり、法的な義務や責任を負うものではありません。

※変更の場合は、左端の「追加」「削除」に○をつけてください。

支援者となる方にも、関係団体等に情報を提供してもよいか確認しましょう。口頭による同意でも構いません。

支援者は自主防災組織や町内会等、団体でも構いません。

選定が困難な場合は、チェックをした上で、引き続き、避難支援者の検討を行うこととして、計画作成の次のステップに進みます。

## (6) 避難場所や避難経路の確認

- 災害時にどのような避難行動をとるか、本人又は家族等の意向を聞きながら、災害（水災時、地震時）毎に本人の状況に応じて検討します（P5、P8を参照）。
- 自宅外への避難が必要な場合、安全な場所にある親族宅や知人宅への避難も含めて検討しましょう。また、地域での取り決めがある場合は、それらも参考に検討を進めることも大切です。
- 「避難」＝「難を逃れること」で、指定避難場所へ行くことだけではありません。本人の医療的ケアの必要性や、長距離の搬送が困難な場合等は、自宅内での垂直避難等も有効な避難になります。在宅避難とする場合は、災害時に備えて備蓄しておく物資等について、あらかじめ確認しておく、災害時の安心につながります。
- また、ショートステイの利用なども含めて、検討しておきましょう。
- 災害時には、日頃使用している道路の陥没や水没等により通行できないことが想定されます。避難先への経路等は、2つ以上検討しておく、いざという時に安心です。

情報伝達手段（必要な伝達方法に☑してください）	
伝達方法	<input checked="" type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> FAX <input type="checkbox"/> 訪問 <input type="checkbox"/> その他（                      ）
	(例)視覚障がいのため、支援者〇〇さんへ連絡希望、聴覚障害のため、〇〇さんが直接訪問する など

避難場所・避難方法				
洪水(大雨)避難方法	指定避難所	久慈市総合福祉センター	その他避難所	(例)自宅2階、近所の〇〇公園、親戚の〇〇宅 自宅の2階
	必要な支援	(例) 徒歩・車イス・自動車で移動する。屋間のみ支援が必要。福祉タクシーが必要。人が多い場所が苦手。など 歩行が困難なため、避難時は車イスやリアカーが必要 軽度の認知症があり、行動を見守る必要がある		
地震(津波)避難方法	指定避難所	久慈市総合福祉センター	その他避難所	(例)自宅2階、近所の〇〇公園、親戚の〇〇宅
	必要な支援	(例) 徒歩・車イス・自動車で移動する。屋間のみ支援が必要。福祉タクシーが必要。人が多い場所が苦手。など 歩行が困難なため、避難時は車イスやリアカーが必要 軽度の認知症があり、行動を見守る必要がある		
福祉避難所の希望	重度の介護/障害、又は人口呼吸器等の医療ケアが必要であり、一般避難所での避難生活が困難であるため、福祉避難所への直接避難を希望しますか。※別途、福祉避難所と調整が必要になりますので、確実に利用できるものではありません。		<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ	

避難所で必要な物や支援内容も記入します。

福祉避難所への直接避難の必要性がある場合はチェックします。

### 福祉避難所について

- ・避難生活において一定の配慮を要する方を対象とする避難所が「福祉避難所」です。
- ・災害時は、一般の避難所へ避難し、そのまま一般の避難所での生活を続けることが困難な方を福祉避難所への移送対象としており、施設の安全点検、開設準備を行い、受入体制が整った施設から順次受入を開始します。
- ・現在は、直接、福祉避難所となっている福祉施設等へ避難することができませんが、福祉避難所への直接避難の必要性が高い方を調査し、調整方法等を検討していきます。

#### (参考)福祉避難所への避難の流れ

- 1 身の安全の確保を最優先に、まず一般の避難所（学校など）に避難。
- 2 一般の避難所で、保健師等の健康調査等により、福祉避難所への受入を調整し、移送対象者を決定。
- 3 福祉避難所の受入体制が整ったところで、移送対象者を家族や介助者等により移送。

## (7) 市へ提出・計画の共有

### ① 久慈市への提出

個別避難計画作成・変更後は、以下の書類を久慈市提出してください。HPからダウンロード可能です。

#### <提出書類>

##### ■個別避難計画作成報告書（P19参照）

作成した個別避難計画（原本）

個別避難計画作成等の意向確認書（原本）（不同意者分も含めて提出）

※作成報告書等は作成後おおむね1ヶ月で提出してください。

##### ■個別避難計画作成請求書（P20参照）

※請求書は、複数の作成報告書に係る分をまとめて請求していただいても構いません。

例：4月～6月分の作成報告書に係る分をまとめて請求等

#### <提出先>

久慈市生活福祉部社会福祉課 個別避難計画 担当

（〒028-8030 久慈市川崎町1番1号 Tel.52-2119 ）

E-mail：syafuku@city.kuji.iwate.jp

#### <請求区分>

区分	単価	内容
新規作成	4,200 円/件	・個別避難計画を初めて作成したとき
連絡調整	1,400 円/件	・社会福祉協議会・民生委員・自主防災組織等と連絡調整し、地域支援者や避難先を決定とき ・地域調整会議に参加し、個別避難計画を作成したとき
避難訓練	1,400 円/件	・要支援者が参加する避難訓練に参加し、避難時の支援方法等を助言したとき
変更	2,100 円/件 対象者1人に付き、年度内1回までを上限	・本人の状態（介護認定、障害支援区分）や住所変更に伴い、避難支援に関連する情報（緊急連絡先、地域支援者、避難場所、避難時の配慮等）が変わったとき ・施設入所等に伴う名簿登録の削除  ※避難時の配慮に関する事項や避難場所、避難経路の情報等、避難に変更が生じるものが対象であり、単に記載誤りや、利用サービスの変更等は含みません。

例：新規作成時に民生委員等と連絡調整を行い、地域支援者を決定。その後、地域主催の避難訓練に参加した場合 4,200 円+1,400 円+1,400 円=7,000 円

### ② 居宅介護支援事業所及び相談支援事業所の保管

- ・個別避難計画には本人やご家族、地域支援者等の個人情報に記載されているため、適切に保管します。
- ・個別避難計画は事業所内において、災害時等にすぐに確認できる方法で保管します。
- ・個別避難計画の作成及び保管時に知り得た情報等については、避難支援等の実施に必要な場合に利用できるものであり、それ以外の目的（他業務での転用等）では使用できません。

### ③ 個別避難計画について、避難支援関係者と共有

- 個別避難計画を以下の避難支援関係者と共有します。
- 地域支援者に対しては、本人やご家族を通じて個別避難計画を共有しても差し支えありません。民生委員には、久慈市から共有します。

高齢者：本人（家族）、地域支援者、居宅介護支援事業所

障害者：本人（家族）、地域支援者、相談支援事業所

### ④ 「個別避難計画」更新

- 対象者本人の心身の状況や、取り巻く環境の変化に伴い、個別避難計画の見直しが必要になる場合があります。避難の実効性を高めるためにも、1年に1回程度、個別避難計画の点検が必要です。
- 個別避難計画の変更により対象経費と認められるものは、避難支援に関連する情報（緊急連絡先、地域支援者、避難場所、避難方法等）が変更施設入所等による居住場所の変更に伴う名簿登録の削除が対象になります。単に記載誤りや、利用サービスの変更等は含みません。
- 個別避難計画の変更による経費の支払いは対象者1人に付き、年度内1回までとしますが、対象者の情報変更については、報告のご協力をお願いします。

### ⑤ 「個別避難計画」を作って終わりにしないために

まず、「計画を作成してみる。」これだけでも防災意識の向上という面では、非常に有意義な取組です。また、実際に計画通りに避難することができるのか、想定する避難先へ移送できるのか、避難経路に思わぬ障害物は無いのか等、平常時から災害時を想定して確認しておくことが重要です。

自主防災組織等で行う避難訓練に介護支援専門員（高齢者）や相談支援専門員（障害者）が参加した場合は、要支援者1人に付き1,400円を加算します。

# 參考資料



## 個別避難計画の作成に関する事前説明について

個別避難計画の作成は、避難支援の実効性を高めるために作成します。居宅介護支援事業所及び相談支援事業所は久慈市からの作成の依頼を受けて、計画作成を行います。

チェック ボックス	項目
<input type="checkbox"/>	個別避難計画とは、洪水（大雨）や地震（津波）災害が発生した（しそうな）時に、本人又は家族等が慌てずに避難していただくため、 <u>あらかじめ避難の仕方を決めて、それを個別避難計画の中に記載することにより、本人や家族等を含めた防災意識、対応力を高めていただき、いざと言う時のために備えていただくものです。</u>
<input type="checkbox"/>	個別避難計画は、本人又は家族から計画作成への同意をいただければ、福祉事業所が本人、家族と相談しながら一緒に作成します。 （任意で作成するものです）
<input type="checkbox"/>	作成した個別避難計画については、久慈市に提出します。 また、計画の共有に同意をいただければ、地域支援者、計画作成を行う居宅介護事業所又は相談支援事業所、民生委員等、 <u>必要最小限の範囲で個別避難計画の共有</u> を行います。
<input type="checkbox"/>	災害時に避難の支援をいただく、地域支援者となる方を決め、記載しますが、この <u>地域支援者については、災害発生時または、その恐れが生じた場合、地域支援者自身やその方のご家族の安全を確保した上で、支援をすることになります。</u>
<input type="checkbox"/>	災害時は、地域支援者が不在であったり、地域支援者自身も被災することが想定されます。 万一、 <u>計画どおりに避難支援できなくても、地域支援者の方は、責任や義務を負うものではなく、支援が得られない場合もありますので、あらかじめご了承ください。協力関係を相互に十分理解した上で、地域における共助支援につながる計画することが大切となります。</u>
<input type="checkbox"/>	実際に災害が発生した（しそうな）場合、作成した計画に従って、本人や家族の判断で避難行動を開始してください。
<input type="checkbox"/>	災害時の声掛けなど、迅速な避難に繋げるためには、何よりも <u>平常時から関係づくりが重要</u> になります。 そのため、本人や家族においても、個別避難計画の作成だけでなく、 <u>積極的に地域との関係づくりに努めていただくことが大切</u> です。

事業所名

氏 名

## 個別避難計画作成等の意向確認書

（宛先）久慈市長

個別避難計画とは、災害がおこったときに円滑に行動ができるよう、支援をしてくれる人や避難経路などをあらかじめまとめた個人の計画です。

個別避難計画の作成にあたっては、避難支援者の候補者や計画を作成する居宅介護支援事業所又は相談支援事業所などの関係者と、必要な限度であなたの個人情報を共有します。

作成した個別避難計画は、①平常時は避難支援等関係者に、②災害が発生し、又は発生するおそれがある場合には、避難支援等の実施に必要な限度で、避難支援関係者等その他の者に提供することがあります。

以上のことを承知し、

**1 個別避難計画を作成・更新することに**

- 同意します。  
 同意しません。

（よろしければ、不同意の理由を御記載ください。）

**2 平常時から個別避難計画の情報を提供することに**

- 同意します。  
 同意しません。

年 月 日

【本人署名】

氏 名

※本人が自筆できない場合や同意についての判断が困難な場合は代理の方の署名をお願いします。

【代理署名】

代理者氏名

本人との関係（ ）

代理者住所

代理者電話番号

## 久慈市避難行動要支援者名簿登録申込書 兼 個別避難計画

申込区分  新規  変更  削除 (削除理由: 死亡 施設入所 その他)

久慈市長様				
私は、災害時に地域の支援を受けたいので、避難行動要支援者名簿への登録を申し込みます。私が届け出た下記の情報が市の関係部課、警察署、消防署、地域の民生委員・児童委員、地域支援者、消防団及び地域支援団体等に提供されることを承諾します。				
令和 年 月 日				
フリガナ氏名		性別		大昭 平令
住所	久慈市	自宅電話番号		
		携帯電話番号		
代理人 代筆者				申込者との関係

登録区分 (該当するものに全てに☑を付けてください)				
<input type="checkbox"/> 高齢者のみの世帯	<input type="checkbox"/> 要介護3以上 (在宅生活者)	介護度	<input type="checkbox"/> 身体障がい者 (肢体・視覚・聴覚)	等級
<input type="checkbox"/> 知的障がい者	<input type="checkbox"/> 精神障がい者	等級	<input type="checkbox"/> 難病患者	病名
<input type="checkbox"/> その他 ( )				※人工呼吸器装着、在宅酸素療法、人工透析等

居住環境 (該当するものに☑を付けてください)		
同居家族	<input type="checkbox"/> いない <input type="checkbox"/> いる (父母・子・祖父母・孫 )	要支援者のみの時間帯
災害の危険 ハザードマップ	<input type="checkbox"/> 土砂災害 <input type="checkbox"/> 洪水浸水 <input type="checkbox"/> 津波浸水 <input type="checkbox"/> その他 ( )	

避難の支援が必要な理由 (該当するものに☑を付けてください)	
私の状態  あてはまるものを全てにチェックしてください。	<p><b>A</b> <input type="checkbox"/> 自力で避難できる(念のため、安否確認してほしい)</p> <p><b>B</b> <input type="checkbox"/> 一部支援や見守りが必要</p> <p><input type="checkbox"/> 立つ・歩くが不自由 ※器具を選択 (車イス・杖・シルバーカー・なし)</p> <p><input type="checkbox"/> 音が聞こえない <input type="checkbox"/> 物が見えない</p> <p><input type="checkbox"/> 言葉や文字が理解しにくい (丁寧な説明があれば理解できる)</p> <p><input type="checkbox"/> 危険性を判断しにくい (丁寧な説明があれば理解できる)</p> <p><b>C</b> <input type="checkbox"/> 専門的な支援が必要</p> <p><input type="checkbox"/> 移動に担架やストレッチャーが必要 <input type="checkbox"/> 集団での生活が困難</p> <p><input type="checkbox"/> 排泄に介助が必要 <input type="checkbox"/> 食事に介助が必要 <input type="checkbox"/> 言葉や文字が理解できない</p> <p><input type="checkbox"/> 医療機器が必要 ※機器 ( )</p>
自由記載	

緊急連絡先 (家族等)				
	フリガナ氏名	生年月日	続柄	住所
追加				電話 (自宅・携帯)
削除				
追加				
削除				

※変更の場合は、左端の「追加」「削除」に○をつけてください。

## 個別避難計画

地域支援者（地域支援者了解のうえ、できるだけ記入してください）			
フリガナ 氏 名 ・ 団 体 名	関係	住所	電話（自宅・携帯）
追加			
削除			
追加			
削除			
追加			
削除			

地域支援者がいないため、個人情報を地域支援団体等へ提供し、候補者がいれば依頼したい。

※避難時の声掛けや移動の補助等の支援をお願いする人を登録してください。

ただし、避難を支援する人が可能な範囲で要支援者（あなた）の支援を行うものであり、法律的な義務や責任を負うものではありません。

※変更の場合は、左端の「追加」「削除」に○をつけてください。

情報伝達手段（必要な伝達方法に☑してください）	
伝達方法	<input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> FAX <input type="checkbox"/> 訪問 <input type="checkbox"/> その他（                  ）
	(例)視覚障がいのため、支援者〇〇さんへ連絡希望、聴覚障害のため、〇〇さんが直接訪問する など

避難場所・避難方法			
洪水（大雨） 避難方法	指定避難所	その他避難所	(例)自宅2階、近所の〇〇公園、親戚の〇〇宅
	必要な支援	(例) 徒歩・車イス・自動車で移動する。昼間のみ支援が必要。福祉タクシーが必要。人が多い場所が苦手。など	
地震（津波） 避難方法	指定避難所	その他避難所	(例)自宅2階、近所の〇〇公園、親戚の〇〇宅
	必要な支援	(例) 徒歩・車イス・自動車で移動する。昼間のみ支援が必要。福祉タクシーが必要。人が多い場所が苦手。など	
福祉避難所の希望	重度の介護/障害、又は人口呼吸器等の医療ケアが必要であり、一般避難所での避難生活が困難であるため、福祉避難所への直接避難を希望しますか。※別途、福祉避難所と調整が必要になりますので、確実に利用できるものではありません。		<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

医療・福祉サービスの状況			
かかりつけ医療機関		担当医師	
持病/既往歴		携行薬等	
居宅介護支援事業所		ケアマネジャー	
相談支援事業所		相談員	
利用状況	(例)毎週月・木    〇時～〇時まで利用 など		

（宛先）久慈市長

住 所 \_\_\_\_\_

名 称 \_\_\_\_\_

代表者名 \_\_\_\_\_

電話番号 \_\_\_\_\_

担当者名 \_\_\_\_\_

### 個別避難計画作成報告書

久慈市避難行動要支援者個別避難計画の作成に関する要領第9に基づき、下記のとおり個別避難計画の作成を報告します。

#### 記

#### 1 個別避難計画を作成した者

	対象者氏名	名簿登録	請求区分	作成者氏名
例	久慈 太郎	有	新規・変更・連絡調整・避難訓練	久慈 花子
1			新規・変更・連絡調整・避難訓練	
2			新規・変更・連絡調整・避難訓練	
3			新規・変更・連絡調整・避難訓練	

※適宜、行を追加してください。

#### 2 個別避難計画の作成について同意を得られなかった者

	対象者氏名	名簿登録	作成者氏名
例	久慈 太郎	有	
1			
2			

#### 3 添付する書類

- (1) 個別避難計画（原本）
- (2) 個別避難計画作成等の意向確認書

（宛先）久慈市長

住 所 \_\_\_\_\_

名 称 \_\_\_\_\_

代表者名 \_\_\_\_\_

電話番号 \_\_\_\_\_

担当者名 \_\_\_\_\_

### 個別避難計画作成請求書

久慈市避難行動要支援者個別避難計画の作成に関する要領第10に基づき、下記のとおり個別避難計画作成の経費を請求します。

記

- 1 請求額 \_\_\_\_\_ 円  
内訳

請求区分	件数	単価	小計
新規作成		4,200	
連絡調整		1,400	
避難訓練		1,400	
変更		2,100	

- 2 振込口座

受 取 口 座	金 融 機 関 名		支 店 名		口 座 区 分	普 通 ・ 当 座
	口 座 番 号		(フリガナ) 口座名義			

- 3 添付する書類

(1) 請求に係る個別避難計画作成報告書の写し

# 非常持出品・備蓄品

## 非常持出品

非常持出品は、避難する時に持ち出すものです。持って運べるだけの必要最低限にし、リュックサックなど両手が使える袋に入れましょう。

点検日：

年月	年月	年月
----	----	----

### 貴重品類

- 預金通帳
- 印鑑  現金
- 免許証
- 健康保険証
- など



### 救急用具

- 絆創膏  包帯
- 消毒薬  常備薬
- マスク
- おくすり手帳
- 体温計
- など



### 避難用具

- 携帯電話
- 懐中電灯
- 携帯ラジオ
- 充電器
- ヘルメット・防災ずきん
- など



### 非常食

- 飲料水
- カップ麺
- 缶詰
- など



### 生活用品

- 厚手の手袋
- 毛布
- 使い捨てカイロ
- など



### 衣料品

- 衣類  下着
- 防寒着
- など



重さの目安  
男性 15kg  
女性 10kg



## 備蓄品

備蓄品は、災害直後から混乱が収まるまでに必要なものです。最低3日間分、できれば1週間分の備蓄をしておきましょう。

点検日：

年月	年月	年月
----	----	----

- 飲料水、生活用水
- 非常用給水袋
- 非常食(アルファ米、レトルト食品など)
- 携帯コンロ、ガスボンベ
- ラップ、アルミホイル
- 衛生用品
- 雨具
- 使い捨てカイロ
- 予備電池



### ローリングストック法を！

「非常時には非常食を」と思っていないですか？  
非常時に食べるものは必ずしも非常食である必要はなく、ふだん食べているもので足りる。例えば缶詰やカップラーメン、レトルト食品などです。  
こういったものを普段の買い物の時に少し多めに買い置きし、日々使いながら減った分をまた買い足すことで、特別な準備や出費をせずに備蓄することができます。



警戒レベル	レベル1	レベル2	レベル3 危険な場所から 高齢者等は避難	レベル4 危険な場所から 全員避難	レベル5 災害発生
警戒レベル	レベル1	レベル2	レベル3 危険な場所から 高齢者等は避難	レベル4 危険な場所から 全員避難	レベル5 災害発生
行政からの情報など			高齢者等避難	避難指示	緊急安全確保*
警戒レベル相当情報など	早期注意情報 (警報級の可能性)	大雨注意報、洪水注意報 氾濫注意情報 キキワル(危険度分布) 「注意」(黄)	大雨警報(土砂災害、浸水害) 洪水警報、氾濫警戒情報 キキワル(危険度分布) 「警戒」(赤)	土砂災害警戒情報 氾濫危険情報 キキワル(危険度分布) 「危険」(紫)	大雨特別警報 氾濫発生情報 キキワル(危険度分布) 「災害切迫」(黒)
基本的事項 (全ての避難行動に 共通する事項)	<input type="checkbox"/> 天気予報を確認 <input type="checkbox"/> 家の点検・補強 <input type="checkbox"/> 非常持出品や備蓄品*の確認 <small>*停電に備えた懐中電灯や水・食料など</small>	<input type="checkbox"/> 備蓄品などが水没しないように 安全な場所に置く <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 避難場所・開設状況の確認 (市のホームページや防災情報Eメール) <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <b>避難開始</b> <b>全員</b> <b>危険な場所から避難</b>	<input type="checkbox"/> <b>避難開始</b> <b>全員</b> <b>危険な場所から避難</b>
	<input type="checkbox"/> 家族やケアマネージャーなど支援者を交えて避難手段やタイミングなどの確認 <input type="checkbox"/> 知人、ペットホテルなどの 一時預け先への確認 <input type="checkbox"/> 避難手段、タイミングなどの確認 <input type="checkbox"/> ペット用非常持出品、 ケージ確認(なければ用意)	<input type="checkbox"/> 家族やケアマネージャーなど支援者を交えて避難手段やタイミングなどの確認 <input type="checkbox"/> 必要に応じて移動手段を検討 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <b>避難開始</b> <b>避難に時間を要する方は</b> <b>危険な場所から避難</b>	<input type="checkbox"/> <b>避難開始</b> <b>避難に時間を要する方は</b> <b>危険な場所から避難</b>	<input type="checkbox"/> <b>避難開始</b> <b>避難に時間を要する方は</b> <b>危険な場所から避難</b>
行動の目安	市が開設する指定避難所 避難に支援を必要とする方 ペットとともに避難する方	災害想定区域外の家族、 親戚、ホテルなど	<input type="checkbox"/> ペットをケージに入れて避難 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <b>避難開始</b> <b>避難に時間を要する方は</b> <b>危険な場所から避難</b>	<input type="checkbox"/> <b>避難開始</b> <b>避難に時間を要する方は</b> <b>危険な場所から避難</b>
わたしの計画 上記のチェック項目を参考に個人のタイムライン を記載しましょう！	最寄りの指定避難所①: 避難方法①: <input type="checkbox"/> 徒歩 <input type="checkbox"/> 車 その他( ) 時間: 指定避難所①まで 分	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	最寄りの指定避難所②: 避難方法②: <input type="checkbox"/> 徒歩 <input type="checkbox"/> 車 その他( ) 時間: 指定避難所②まで 分	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<div style="border: 2px solid green; border-radius: 50%; padding: 20px; display: inline-block;"> <p style="color: white; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">避難行動を 書き込んで みましょう！</p> </div>					

